

センターだより

第65号

荒砥

発行日：令和2年8月17日

発行所：荒砥地区コミュニティセンター

Tel 85-0260

Fax 85-0263

思いやる心が築く明るい荒砥

7.28豪雨 またもや自然の洗礼



令和2年7月29日 朝 水位の下がった荒砥橋の堤防にて撮影

コミセンには、町の主導で避難所が開設され、安全が確認されるまで危険地区の方々を受入れました。自主防災会では、早めの行動を心掛け地区の安全を確保しましたが、教訓は経験する度に生まれます。今後活かすべく防災活動を検証しましょう。

生涯学習部第2回の部会では、事業計画について話し合われました。新型コロナウイルスの時のみでなく、長い目でみた長期計画も視野に入れて、前回の会議で出た案を検証しました。いろんな立場の意見があり、生涯学習部会の役割や活動範囲にまで話がおよびました。

「生涯学習」が地域づくりで果たせる役割は大きいものがありますが、小さな事からコツコツと、やがて大きな流れとなるようにと思います。



いつ / 9月19日(土) 10時〜
どこで / コミセン大ホール
講師 / 横山千恵子氏
テーマ / 腰痛改善



無理のない
初心者むけのコース
です。

申し込み / 荒砥コミセン
電話 / 85・0260
参加費 / 無料
※一回で腰痛は改善しません。
方法を体験して改善のきっかけにしましょう。

子獅子育成保存会 開級式

7/11

コロナ禍の中、7月11日(土) 令和2年度の開級式を行いました。小学生は新人2名を迎え17名となりました。

子獅子会員、保護者、指導者が顔を合わせ、芳賀康雄会長からウイルス対策を念頭におきながら練習する年である事と、記念すべき活動30周年の年ながら、発表の場は望めない状況で「地域に伝わる獅子舞(七・五・三の舞)」をしっかりとし身に着ける機会とし、技術習得(舞・太鼓・笛)の年にしようとの話がありました。

コミセン分館便り ④

仲町分館

貝生分館



分館長 山口 良浩

仲町分館では、「明るく活気ある仲町づくり」「スポーツや文化活動を通じ、区民の楽しい交流活動」「地域福祉の積極的推進」を目標に活動を行っています。

活動として、8月に「第38回仲町まつり」、11月に「第41回仲町文化祭・福祉餅つき大会」を開催し、多くの区民の方に参加いただきたいと思っております。

「仲町夏まつり」は新型コロナウイルスの影響で中止としましたが、「文化祭・福祉餅つき大会」は是非実施できるように早く収束してほしいと願っています。



追伸 杵と臼で搗く美味しいお餅をたくさんの方が楽しみに待っています。



分館長 菅原 良教

貝生分館では、7月の「愛宕山公園手入れ」に始まり8月の「夏まつり」、9月の「芋煮会」、1月の「冬の行事」(子供会育成会と共催のさいと焼き)を基本的な年間行事として活動しています。

特に、貝の会の「大花火大会」とタイアップした「夏まつり」には、これまで、地区外のみなさんにも大勢参加いただき盛大に開催してきましたが、今年は残念ながらコロナ感染症の影響で中止せざるを得ませんでした。

また、荒砥地区レク大会に合わせて実施している「芋煮会」も中止することとなり、その後の行事も開催が危ぶまれる状況ですが、早く通常の生活ができるようになることを祈りつつ、引き続き区民のみなさんの交流の推進等に努めていかなければと考えているところです。

夏の交通安全運動 街頭でアピール!

8/3



夏の交通安全運動の立哨りしやうが、8月3日と21日に行われています。

コロナ禍のために春の交通安全運動の立哨りしやうは、中止となりましたので、今年度は初めての立哨りしやうとなりました。

交対協、安協、母の会のみならず、各所に黄色い帽子姿で立ち、「地域の皆様に交通安全に注意していただきたい」とアピールしていました。

この日は朝の登校・通勤時で交通量が多いへん多く車両を止めて横断歩道を渡るなどの光景が見られました。

明るいやまがた 夏の安全県民運動 長井地区出発式・白鷹町役場前

7/22



7月22日、晴れ上がった夏空の下、荒砥地区防犯協会、交通安全対策協議会、交通安全母の会は、「明るいやまがた夏の安全県民運動 長井地区出発式」に参加しました。

今年のお発式は、白鷹町役場の新庁舎前で行われ、青パトの出発セレモニーに続き、関係団体は「青少年のいじめ・非行及び犯罪被害防止」と「子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅」を重点目標に、街頭啓発活動を行いました。

子ども会育成会・研修会 “5G時代の子育ての前に”

8/5



荒砥地区の子ども会育成会の各地区会長・副会長での総会・研修会を実施しました。

研修会の講師は日本アルカディアネットワークの高橋直記氏。5Gとは第5世代移動通信システムの意味で通信インフラに大きく技術革新をもたらすといわれていますが、そんな次世代で、親は子育て(教育)をどのように行っていけば良いのかを考えていかなければいけません。

5Gのこれから予想されるであろう、出来事年表を参考に、「これからの子育ては、親世代が育てられた価値観とは違い、探求することや没頭できることが対価となり、生きがいや喜びにつながるのではないか。世の中で、与の中(自分の中)を考えた」と、答えのない子育てについて所感を話されていました。



講師の黒澤和子氏(仲町)より2種類のエコバックの作り方を教えていただきました。

1つ目はコンビニで弁当を購入した時に便利な大きめの布袋。ミシンを使いました。

2つ目ははてぐい1本でできるあづま袋。各自お気に入りの布でぬぐいを持ち寄り、手縫いしました。あづま袋の便利な使い方なども教えていただき、カバンに入れて使うのが楽しみだという声が聞かれました。作るって楽しいですね。マスクづくりから手芸熱が復活しているそうです。



手作りの

エコバックを縫おう!

7/29
8/3



7月1日よりレジ袋有料化となりました。

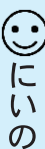
コミセンは、感染防止マナー※を守り、有効にご活用ください。
 (※入館時の検温と手指アルコール消毒、マスク着用、三密を避けて人との距離をとる)

2020年8月～9月

予定は変更になる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
8/16	17	18	19	20 13:15～ 元気わくわく 教室	21 7:30～ 夏の交通安全 街頭立哨	22
23	24	25 1:30～ 環境講座 EMぼかしを つくろう	26 19:00～ 生活安全推進 部会	27 13:15～ 元気わくわく 教室	28	29
30	31	9/1	2	3 13:15～ 元気わくわく 教室	4	5
9/6	7	8	9	10 13:15～ 元気わくわく 教室	11	12
13	14	15	16	17 13:15～ 元気わくわく 教室	18	19 10:00～ 軽スポーツ部 会主催 ヨガ教室

あとがき
 朝顔が百個咲きました。
 琉球朝顔は青色だけです。
 今月末頃には結実し、
 種ができます。来年蒔い
 てみたい方は、9月はじ
 めに採取していただく
 さいね。



★生ごみを自分で堆肥化すること
 挑戦してみませんか？

日 時：8月25日 午後1時30分 開始
 場 所：荒砥駅前JA倉庫
 講 師：美しい郷づくり推進会議
 内 容：EMぼかしづくりと使い方学ぶ
 持 ち 物：帽子・ゴム手袋・マスク・長靴
 タオル・コマ袋2・ひも2
 コマ袋に入るビニール袋2
 服 装：汚れてもいい服装で
 申 込：先着20名まで
 お問合せ：荒砥地区コミセンまで

環境講座 EMぼかしをつくろう

EMぼかし1型とは・・・米ぬか、もみ殻、EM
 1、糖蜜、水、セラミックパウダー(ねずみ除
 け)などを混ぜ1ヶ月発酵させ、ぼかしを使
 い、生ごみや庭の草を自分で処理できます。
 完成品は、花や野菜づくりの肥料となり、有
 機質の土として使用していくことで、循環す
 る環境づくりの一役を担うものです。